

## ファシリテーションスキルは今後さらに求められる！

結エデュケーション株式会社 代表取締役 高嶋 謙行

みなさんは、「NIMBY（ニンビー）」という言葉を知っていますか？

NIMBYとは、“Not In My Back Yard”（我が家の裏には御免）の略語で、「施設の必要性は認めるが、自らの居住地域には建てないでくれ」と主張する住民たちや、その態度を指す言葉のことをさします。

具体的な例（あくまで1部ですが）各地域のゴミステーション、保育園、幼稚園、学校、公園、ごみ焼却場、し尿処理施設、産業廃棄物処理施設、リサイクル施設、埋立処分場、精神病院、葬儀・火葬場 etc. 行政職員の仕事とニンビー問題は切っても切れない関係であると言えます。2019年5月には、東京都港区が南青山で進めた児童相談所建設計画が周辺住民の強い反対に遭うなど、実際のニュースで目にした方もいらっしゃるでしょう。

ニンビー問題に限らず、私たちは意思決定や情報交換、また交渉や調整場面において日々ファシリテーションスキルが求められています。

では、ファシリテーションとは何でしょうか？ファシリテーションの元々の意味は「プロセスや活動を容易にすること」です。単なる会議司会の運営法ではなく、集団活動を容易にするためにチームワークを促進し、個人プレーでは決して作ることができない、結論に導くための技術と定義できます。

要するに会議に対して参加者全員が前向きかつ、真剣に議論を進めるための雰囲気作りやルールを設定し、より会議を活性化させるための手法と言えます。

本研修では、ファシリテーションを円滑に進めるためのステップを4つと簡潔かつ明確にして、実践度の高い具体的な手法を学ぶことができます。半日という時間が限られた研修のため、知識習得というより、「演習を通じて体験しながら学ぶ」ことを主眼に講座のプログラムを構築しました。

ファシリテーターとしての学び、参加者としての学び、両面からの気づきが得られます。

一人でも多くのご参加を心から楽しみにしております。

---

研修講師として、全国の官公庁・一部上場企業で社会人への研修を22年間担当。現在も新入社員研修から管理職研修まで、ヒューマンスキルに関わる教育を展開。「知識注入」のみの研修ではなく、「学びと気づきと楽しさ」を基盤とした、実践的なカリキュラムを運営することをポリシーとしている。

